安全データシート

1. 化学品及び会社情報

［供給者］ 会　　社　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見２４番地
担当部門　　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　　FAX番号　　052-443-4825
緊急連絡先　　担当部門に同じ

整理番号：　ＤＪＫ－００５０－４
改訂日　　２０２１年 １１月 ２９日
作成日　　２０１５年　 １月 １４日

化学品の名称（化学名，商品名）　ジョリシール　ＪＫ－５７（ＤＧＲ）

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

皮膚感作性		区分１
水生環境有害性	短期（急性）	区分３
水生環境有害性	長期（慢性）	区分３

※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示

・注意喚起語　　警告

・危険有害性情報
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412 長期継続的影響によって水性生物に有害

・注意事項（ＧＨＳ対応表記）

安全対策
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。（P261）
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（P272）
環境への放出を避けること。（P273）
保護手袋を着用すること。（P280）

救急措置
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。（P302+P352）
特別な処置が必要である。（P321）
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てをうけること。（P333+P313）
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。（P362+P364）

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。（P501）

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物
化学名又は一般名：　シリコーン系シーリング材
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	ＣＡＳ№	化審法
ポリアルキルシロキサン等	社外秘	－	既存
オキシムシラン	1～10	－	既存
ビニルトリス（メチルエチルケトキシミン）シラン	1未満	2224-33-1	既存
酸化亜鉛	1未満	1314-13-2	既存
Ｎ－（２－アミノエチル）－３－アミノピロピルトリメトキシシラン	1未満	1760-24-3	既存
酸化鉄	5未満	1309-38-2	既存
酸化チタン（Ⅳ）	1未満	13463-67-7	既存

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） 酸化亜鉛（1%未満）、酸化鉄（5%未満）、酸化チタン（Ⅳ）（1%未満）

4. 応急措置

目に入った場合：	直ちに多量の水で１５分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
皮膚に付着した場合：	付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）
吸入した場合：	吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気の場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末・炭酸ガス・泡
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の消火方法：	付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火に際しては、保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具および緊急措置：	密閉された場所に立入る前に換気する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。 作業の際は必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。 廃棄は『廃棄上の注意』の項による。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合は、紙や布で拭き取る。 大量の場合は、火花のでないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	火気厳禁。溶剤による希釈や品質の異なる接着剤との併用及び混合はしない。 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕１～２時間）を行なう。 使用時は目・皮膚等への接触を避けるために適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。 作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、すみやかに石鹸水等で洗い落とす。 使用箇所及び張付け材料は、容器の表示を確認し使用する。
技術的対策：	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	環境への放出を避けること。
接触回避：	『10. 安全性及び反応性』を参照。
保　管：	貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行い『消防法』に従い貯蔵する。 直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子どもの手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。

安全な保管条件： 消防法・労働安全衛生法等の、法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。
現場施工用接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。
使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流出させない。
使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。
保護具： 呼吸用保護具： 保護マスクを着用する。
手の保護具： 保護手袋を着用すること。
目の保護具： 保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具： 長袖作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
形状：	ペースト状
色：	濃灰色
臭い：	微臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	８１℃（その他）
自然発火点：	４５０℃
分解温度：	データなし
ｐＨ：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	データなし
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	１．０４（g/cm^3）（２３℃）
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他のデータ： 揮発性：	なし

10. 安定性及び反応性

反応性： 情報なし
化学的安定性： 情報なし
危険有害反応可能性： 強酸・強アルカリとの接触により、重合あるいは分解が起こる。
避けるべき条件： 現在のところ知見なし。
混触危険物質： 情報なし
危険有害な分解生成物： 現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

［ＧＨＳ分類］ 急性毒性： 経口：現在のところ知見なし。
経皮：現在のところ知見なし。
吸入：現在のところ知見なし。
皮膚腐食性／刺激性： 現在のところ知見なし。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性： 現在のところ知見なし。
呼吸器感作性： 現在のところ知見なし。
皮膚感作性： 現在のところ知見なし。
生殖細胞変異原性： 現在のところ知見なし。
発がん性： 現在のところ知見なし。
生殖毒性： 現在のところ知見なし。
特定標的臓器毒性（単回暴露）： データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）： データなし

誤えん有害性： データなし
その他のデータ： 慢性毒性： 現在のところ知見なし。
催奇形性： 現在のところ知見なし。
その他 水や空気中の湿気との接触時及び硬化時にメチルエチルケトオキシムを発生する。

12. 環境影響情報

［ＧＨＳ分類］ 水生環境有害性 短期（急性）： 現在のところ知見なし。
水生環境有害性 長期（慢性）： 現在のところ知見なし。
生態毒性： データなし。
残留性・分解性： データなし。
生体蓄積性： データなし。
土壌中の移動性： データなし。
オゾン層への有害性： データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 産業廃棄物〔廃油と廃プレスチック類の混合物〕として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた専門業者に委託する。使用済み容器、ウエス等も同様である。
汚染容器・包装： 情報なし

14. 輸送上の注意

国連番号： 非該当
品名： 非該当
国連分類： 非該当
容器等級： 非該当
国際規制：
海上規制情報： 該当しない
Marine Pollutant： Not applicable
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annez Ⅱ, and the IBC code: Not applicable
航空規制情報： 該当しない
国内規制：
陸上規制： 該当しない
海上規制情報： 該当しない
海洋汚染物質： 非該当
MARPOL 73/78 付属書Ⅱ 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 非該当
航空規制情報： 該当しない
特別の安全対策： 可燃性を有しているので火気厳禁。容器に漏れのないことを確かめ、店頭・落下・損傷のないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号： なし

15. 適用法令

消防法： 指定可燃物 可燃性固体類
毒物劇物取締法： 非該当
労働安全衛生法：
［表示対象物質］ 酸化鉄
［通知対象物質］ 酸化亜鉛、酸化鉄、酸化チタン（Ⅳ）
［特化則］ 非該当
［有機則］ 非該当
ＰＲＴＲ法：
［第１種指定化学物質］ 非該当
［第２種指定化学物質］ 非該当
水質汚濁防止法： 指定物質（法第２条第４項、施工令第３条の３）
大気汚染防止法： 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）

海洋汚染防止法：	有害液体物質（Ｚ類物質）（施工令別表第１）
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第１の１６の項
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）：	特定有害廃棄物（法第２条第１項第１号イ、平成３０年６月１８日省令第１２号）
水道法：	有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）
下水道法：	水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）
じん肺法：	法第２条、施行規則第２条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：	産業廃棄物（法第２条第４項）

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本シーリング材工業会）室内空気汚染対策のための自主管理規定
ＪＳＩＡ－８０１００３　Ｆ☆☆☆☆

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）「GHS分類結果データベース」
日本ケミカルデータベース株式会社　法規制データベース「ezCRIC」
日本ケミカルデータベース株式会社　「ケミカルデータベース」
製品安全データシート指針（日本化学工業協会）
化学物質等の危険有害性等表示制度（労働基準調査会）
化学物質安全性情報の提供について（食品薬品安全センター）
化学品法令集　化学工業日報社（1991）
16918の化学商品　化学工業日報社（2018）

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

［供給者］ 会　　社　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見２４番地
担当部門　　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　　FAX番号　　052-443-4825
緊急連絡先　　担当部門に同じ

整理番号：　ＤＪＫ－００５１－３
改訂日　　２０２１年 １１月 ２９日
作成日　　２０１５年　 1月 １４日

化学品の名称（化学名，商品名）　ジョリシール　ＪＫ－５７（ＬＲＯ）

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

皮膚感作性		区分１
水生環境有害性	短期（急性）	区分３
水生環境有害性	長期（慢性）	区分３

※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示

・注意喚起語　　警告

・危険有害性情報
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412 長期継続的影響によって水性生物に有害

・注意事項（ＧＨＳ対応表記）

安全対策
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。（P261）
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（P272）
環境への放出を避けること。（P273）
保護手袋を着用すること。（P280）

救急措置
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。（P302+P352）
特別な処置が必要である。（P321）
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てをうけること。（P333+P313）
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。（P362+P364）

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。（P501）

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物
化学名又は一般名：　シリコーン系シーリング材
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	ＣＡＳ№	化審法
ポリアルキルシロキサン等	社外秘	－	既存
オキシムシラン	1～10	－	既存
ビニルトリス（メチルエチルケトキシミン）シラン	1未満	2224-33-1	既存
酸化亜鉛	1未満	1314-13-2	既存
酸化チタン（Ⅳ）	1～10	13463-67-7	既存
Ｎ－（２－アミノエチル）－３－アミノピロピルトリメトキシシラン	1未満	1760-24-3	既存

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）	酸化亜鉛（1%未満）、酸化チタン（Ⅳ）（1%～10%）

4. 応急措置

目に入った場合：	直ちに多量の水で１５分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
皮膚に付着した場合：	付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）
吸入した場合：	吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気の場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末・炭酸ガス・泡
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の消火方法：	付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火に際しては、保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具および緊急措置：	密閉された場所に立入る前に換気する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。 作業の際は必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。 廃棄は『廃棄上の注意』の項による。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合は、紙や布で拭き取る。 大量の場合は、火花のでないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	火気厳禁。溶剤による希釈や品質の異なる接着剤との併用及び混合はしない。 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕１～２時間）を行なう。 使用時は目・皮膚等への接触を避けるために適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。 作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、すみやかに石鹸水等で洗い落とす。 使用箇所及び張付け材料は、容器の表示を確認し使用する。
技術的対策：	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	環境への放出を避けること。
接触回避：	『10. 安全性及び反応性』を参照。
保　管：	貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行い『消防法』に従い貯蔵する。 直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子どもの手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。

安全な保管条件：　消防法・労働安全衛生法等の、法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。
現場施工用接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。
使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流出させない。
使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：　局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。
保護具：
呼吸用保護具：保護マスクを着用する。
手の保護具：　保護手袋を着用すること。
目の保護具：　保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具：　長袖作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
形状：	ペースト状
色：	淡赤色
臭い：	微臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	８１℃（その他）
自然発火点：	４５０℃
分解温度：	データなし
ｐＨ：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	データなし
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	１．０４（g/cm^3）（２３℃）
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他のデータ：　揮発性：	なし

10. 安定性及び反応性

反応性：　情報なし
化学的安定性：　情報なし
危険有害反応可能性：　強酸・強アルカリとの接触により、重合あるいは分解が起こる。
避けるべき条件：　現在のところ知見なし。
混触危険物質：　情報なし
危険有害な分解生成物：　現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

［ＧＨＳ分類］
急性毒性：
経口：現在のところ知見なし。
経皮：現在のところ知見なし。
吸入：現在のところ知見なし。
皮膚腐食性／刺激性：　現在のところ知見なし。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：　現在のところ知見なし。
呼吸器感作性：　現在のところ知見なし。
皮膚感作性：　現在のところ知見なし。
生殖細胞変異原性：　現在のところ知見なし。
発がん性：　現在のところ知見なし。
生殖毒性：　現在のところ知見なし。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：　データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）：　データなし

誤えん有害性： データなし
その他のデータ： 慢性毒性： 現在のところ知見なし。
催奇形性： 現在のところ知見なし。
その他 水や空気中の湿気との接触時及び硬化時にメチルエチルケトオキシムを発生する。

12. 環境影響情報

［ＧＨＳ分類］ 水生環境有害性 短期（急性）： 現在のところ知見なし。
水生環境有害性 長期（慢性）： 現在のところ知見なし。
生態毒性： データなし。
残留性・分解性： データなし。
生体蓄積性： データなし。
土壌中の移動性： データなし。
オゾン層への有害性： データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 産業廃棄物〔廃油と廃プレスチック類の混合物〕として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた専門業者に委託する。使用済み容器、ウエス等も同様である。
汚染容器・包装： 情報なし

14. 輸送上の注意

国連番号： 非該当
品名： 非該当
国連分類： 非該当
容器等級： 非該当
国際規制：
海上規制情報： 該当しない
Marine Pollutant： Not applicable
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annez Ⅱ, and the IBC code: Not applicable
航空規制情報： 該当しない
国内規制：
陸上規制： 該当しない
海上規制情報： 該当しない
海洋汚染物質： 非該当
MARPOL 73/78 付属書Ⅱ 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 非該当
航空規制情報： 該当しない
特別の安全対策： 可燃性を有しているので火気厳禁。容器に漏れのないことを確かめ、店頭・落下・損傷のないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号： なし

15. 適用法令

消防法： 指定可燃物 可燃性固体類
毒物劇物取締法： 非該当
労働安全衛生法：
［表示対象物質］ 酸化チタン（Ⅳ）
［通知対象物質］ 酸化亜鉛、酸化チタン（Ⅳ）
［特化則］ 非該当
［有機則］ 非該当
ＰＲＴＲ法：
［第１種指定化学物質］ 非該当
［第２種指定化学物質］ 非該当
水質汚濁防止法： 指定物質（法第２条第４項、施工令第３条の３）
大気汚染防止法： 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）

海洋汚染防止法：	有害液体物質（Ｚ類物質）（施工令別表第１）
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第１の１６の項
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）：	特定有害廃棄物（法第２条第１項第１号イ、平成３０年６月１８日省令第１２号）
水道法：	有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）
下水道法：	水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）
じん肺法：	法第２条、施行規則第２条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：	産業廃棄物（法第２条第４項）

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本シーリング材工業会）室内空気汚染対策のための自主管理規定
ＪＳＩＡ－８０１００３　Ｆ☆☆☆☆

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）「GHS分類結果データベース」
日本ケミカルデータベース株式会社　法規制データベース「ezCRIC」
日本ケミカルデータベース株式会社　「ケミカルデータベース」
製品安全データシート指針（日本化学工業協会）
化学物質等の危険有害性等表示制度（労働基準調査会）
化学物質安全性情報の提供について（食品薬品安全センター）
化学品法令集　化学工業日報社（1991）
16918の化学商品　化学工業日報社（2018）

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

［供給者］ 会　　社　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見２４番地
担当部門　　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　　FAX番号　　052-443-4825
緊急連絡先　　担当部門に同じ

整理番号：　ＤＪＫ－００５３－３
改訂日　　２０２１年 １１月 ２９日
作成日　　２０１５年　 １月 １４日

化学品の名称（化学名，商品名）　ジョリシール　ＪＫ－５７（Ｔ－２）

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

皮膚感作性		区分１
水生環境有害性	短期（急性）	区分３
水生環境有害性	長期（慢性）	区分３

※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示

・注意喚起語　　警告

・危険有害性情報
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412 長期継続的影響によって水性生物に有害

・注意事項（ＧＨＳ対応表記）

安全対策
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。（P261）
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（P272）
環境への放出を避けること。（P273）
保護手袋を着用すること。（P280）

救急措置
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。（P302+P352）
特別な処置が必要である。（P321）
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てをうけること。（P333+P313）
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。（P362+P364）

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。（P501）

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物
化学名又は一般名：　シリコーン系シーリング材
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	ＣＡＳ№	化審法
ポリアルキルシロキサン等	社外秘	－	既存
オキシムシラン	1～10	－	既存
ビニルトリス（メチルエチルケトキシミン）シラン	1未満	2224-33-1	既存
酸化チタン（Ⅳ）	1～10	13463-67-7	既存
Ｎ－（２－アミノエチル）－３－アミノピロピルトリメトキシシラン	1未満	1760-24-3	既存
酸化亜鉛	1未満	1314-13-2	既存

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）	酸化亜鉛（1%未満）、酸化チタン（Ⅳ）（1%～10%）

4. 応急措置

目に入った場合：	直ちに多量の水で１５分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
皮膚に付着した場合：	付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）
吸入した場合：	吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気の場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末・炭酸ガス・泡
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の消火方法：	付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火に際しては、保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具および緊急措置：	密閉された場所に立入る前に換気する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。 作業の際は必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。 廃棄は『廃棄上の注意』の項による。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合は、紙や布で拭き取る。 大量の場合は、火花のでないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	火気厳禁。溶剤による希釈や品質の異なる接着剤との併用及び混合はしない。 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕１～２時間）を行なう。 使用時は目・皮膚等への接触を避けるために適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。 作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、すみやかに石鹸水等で洗い落とす。 使用箇所及び張付け材料は、容器の表示を確認し使用する。
技術的対策：	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	環境への放出を避けること。
接触回避：	『10. 安全性及び反応性』を参照。
保　管：	貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行い『消防法』に従い貯蔵する。 直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子どもの手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。

安全な保管条件：　消防法・労働安全衛生法等の、法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。
現場施工用接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。
使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流出させない。
使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：　局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。
保護具：
呼吸用保護具：保護マスクを着用する。
手の保護具：　保護手袋を着用すること。
目の保護具：　保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具：　長袖作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：		液体
形状：		ペースト状
色：		グレー
臭い：		微臭
融点／凝固点：		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：		データなし
可燃性：		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：		データなし
引火点：		８１℃（その他）
自然発火点：		４５０℃
分解温度：		データなし
ｐＨ：		データなし
動粘性率：		データなし
溶解度：		データなし
n-オクタノール/水分配係数：		データなし
蒸気圧：		データなし
密度及び／又は相対密度：		１．０４（g/cm^3）（２３℃）
相対ガス密度：		データなし
粒子特性：		データなし
その他のデータ：	揮発性：	なし

10. 安定性及び反応性

反応性：　情報なし
化学的安定性：　情報なし
危険有害反応可能性：　強酸・強アルカリとの接触により、重合あるいは分解が起こる。
避けるべき条件：　現在のところ知見なし。
混触危険物質：　情報なし
危険有害な分解生成物：　現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

［ＧＨＳ分類］

急性毒性：	経口：現在のところ知見なし。 経皮：現在のところ知見なし。 吸入：現在のところ知見なし。
皮膚腐食性／刺激性：	現在のところ知見なし。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：	現在のところ知見なし。
呼吸器感作性：	現在のところ知見なし。
皮膚感作性：	現在のところ知見なし。
生殖細胞変異原性：	現在のところ知見なし。
発がん性：	現在のところ知見なし。
生殖毒性：	現在のところ知見なし。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：	データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）：	データなし

誤えん有害性： データなし
その他のデータ： 慢性毒性： 現在のところ知見なし。
催奇形性： 現在のところ知見なし。
その他 水や空気中の湿気との接触時及び硬化時にメチルエチルケトオキシムを発生する。

12. 環境影響情報

［ＧＨＳ分類］ 水生環境有害性 短期（急性）： 現在のところ知見なし。
水生環境有害性 長期（慢性）： 現在のところ知見なし。
生態毒性： データなし。
残留性・分解性： データなし。
生体蓄積性： データなし。
土壌中の移動性： データなし。
オゾン層への有害性： データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 産業廃棄物〔廃油と廃プレスチック類の混合物〕として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた専門業者に委託する。使用済み容器、ウエス等も同様である。
汚染容器・包装： 情報なし

14. 輸送上の注意

国連番号： 非該当
品名： 非該当
国連分類： 非該当
容器等級： 非該当
国際規制：
海上規制情報： 該当しない
Marine Pollutant： Not applicable
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annez Ⅱ, and the IBC code: Not applicable
航空規制情報： 該当しない
国内規制：
陸上規制： 該当しない
海上規制情報： 該当しない
海洋汚染物質： 非該当
MARPOL 73/78 付属書Ⅱ 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 非該当
航空規制情報： 該当しない
特別の安全対策： 可燃性を有しているので火気厳禁。容器に漏れのないことを確かめ、店頭・落下・損傷のないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号： なし

15. 適用法令

消防法： 指定可燃物 可燃性固体類
毒物劇物取締法： 非該当
労働安全衛生法：
［表示対象物質］ 酸化チタン（Ⅳ）
［通知対象物質］ 酸化亜鉛、酸化チタン（Ⅳ）
［特化則］ 非該当
［有機則］ 非該当
ＰＲＴＲ法：
［第１種指定化学物質］ 非該当
［第２種指定化学物質］ 非該当
水質汚濁防止法： 指定物質（法第２条第４項、施工令第３条の３）
大気汚染防止法： 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）

海洋汚染防止法：	有害液体物質（Ｚ類物質）（施工令別表第１）
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第１の１６の項
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）：	特定有害廃棄物（法第２条第１項第１号イ、平成３０年６月１８日省令第１２号）
水道法：	有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）
下水道法：	水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）
じん肺法：	法第２条、施行規則第２条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：	産業廃棄物（法第２条第４項）

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本シーリング材工業会）室内空気汚染対策のための自主管理規定
ＪＳＩＡ－８０１００３　Ｆ☆☆☆☆

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）「GHS分類結果データベース」
日本ケミカルデータベース株式会社　法規制データベース「ezCRIC」
日本ケミカルデータベース株式会社　「ケミカルデータベース」
製品安全データシート指針（日本化学工業協会）
化学物質等の危険有害性等表示制度（労働基準調査会）
化学物質安全性情報の提供について（食品薬品安全センター）
化学品法令集　化学工業日報社（1991）
16918の化学商品　化学工業日報社（2018）

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

［供給者］ 会　　社　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見２４番地
担当部門　　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　　FAX番号　　052-443-4825
緊急連絡先　　担当部門に同じ

整理番号：　ＤＪＫ－００５６－４
改訂日　　２０２１年 １１月 ２９日
作成日　　２０１５年　 １月 １４日

化学品の名称（化学名，商品名）　ジョリシール　ＪＫ－５７（Ｔ－５）

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

皮膚感作性		区分１
水生環境有害性	短期（急性）	区分３
水生環境有害性	長期（慢性）	区分３

※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示

・注意喚起語　　警告

・危険有害性情報
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412 長期継続的影響によって水性生物に有害

・注意事項（ＧＨＳ対応表記）

安全対策
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。（P261）
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（P272）
環境への放出を避けること。（P273）
保護手袋を着用すること。（P280）

救急措置
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。（P302+P352）
特別な処置が必要である。（P321）
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てをうけること。（P333+P313）
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。（P362+P364）

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。（P501）

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物
化学名又は一般名：　シリコーン系シーリング材
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	ＣＡＳ№	化審法
ポリアルキルシロキサン等	社外秘	－	既存
オキシムシラン	1～10	－	既存
ビニルトリス（メチルエチルケトキシミン）シラン	1未満	2224-33-1	既存
酸化亜鉛	1未満	1314-13-2	既存
酸化チタン（Ⅳ）	1～10	13463-67-7	既存
Ｎ－（２－アミノエチル）－３－アミノピロピルトリメトキシシラン	1未満	1760-24-3	既存
ニッケル及びその化合物／アンチモン及びその化合物	1未満	8007-18-9	既存

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）	酸化亜鉛（1%未満）、酸化チタン（Ⅳ）（1%～10%）、ニッケル及びその化合物（1%未満）、アンチモン及びその化合物（1%未満）
化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）	第1種指定化学物質、特定第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1、施行令第4条）	ニッケル化合物（0.28%）

4. 応急措置

目に入った場合：	直ちに多量の水で１５分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
皮膚に付着した場合：	付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）
吸入した場合：	吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気の場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末・炭酸ガス・泡
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の消火方法：	付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火に際しては、保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具および緊急措置：	密閉された場所に立入る前に換気する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。 作業の際は必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。 廃棄は『廃棄上の注意』の項による。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合は、紙や布で拭き取る。 大量の場合は、火花のでないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	火気厳禁。溶剤による希釈や品質の異なる接着剤との併用及び混合はしない。 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕１～２時間）を行なう。 使用時は目・皮膚等への接触を避けるために適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。 作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、すみやかに石鹸水等で洗い落とす。 使用箇所及び張付け材料は、容器の表示を確認し使用する。
技術的対策：	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	環境への放出を避けること。
接触回避：	『10. 安全性及び反応性』を参照。

保　管：　貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行い『消防法』に従い貯蔵する。直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子どもの手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。

安全な保管条件：　消防法・労働安全衛生法等の、法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。
現場施工用接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。
使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流出させない。
使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：　局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。

保護具：
- 呼吸用保護具：保護マスクを着用する。
- 手の保護具：　保護手袋を着用すること。
- 目の保護具：　保護メガネを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具：　長袖作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
形状：	ペースト状
色：	ベージュ
臭い：	微臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	８１℃（その他）
自然発火点：	４５０℃
分解温度：	データなし
ｐＨ：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	データなし
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	１．０４（g/cm^3）（２３℃）
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他のデータ：　揮発性：	なし

10. 安定性及び反応性

反応性：　情報なし

化学的安定性：　情報なし

危険有害反応可能性：　強酸・強アルカリとの接触により、重合あるいは分解が起こる。

避けるべき条件：　現在のところ知見なし。

混触危険物質：　情報なし

危険有害な分解生成物：　現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

［ＧＨＳ分類］

急性毒性：
- 経口：現在のところ知見なし。
- 経皮：現在のところ知見なし。
- 吸入：現在のところ知見なし。

皮膚腐食性／刺激性：　現在のところ知見なし。

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：　現在のところ知見なし。

呼吸器感作性：　現在のところ知見なし。

皮膚感作性：　現在のところ知見なし。

生殖細胞変異原性：　現在のところ知見なし。

発がん性：　現在のところ知見なし。

生殖毒性：　現在のところ知見なし。

特定標的臓器毒性（単回暴露）：　データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）：　データなし
誤えん有害性：　データなし
その他のデータ：　慢性毒性：　現在のところ知見なし。
催奇形性：　現在のところ知見なし。
その他　水や空気中の湿気との接触時及び硬化時にメチルエチルケトオキシムを発生する。

12. 環境影響情報

［ＧＨＳ分類］水生環境有害性　短期（急性）：　現在のところ知見なし。
水生環境有害性　長期（慢性）：　現在のところ知見なし。
生態毒性：　データなし。
残留性・分解性：　データなし。
生体蓄積性：　データなし。
土壌中の移動性：　データなし。
オゾン層への有害性：　データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：　産業廃棄物〔廃油と廃プレスチック類の混合物〕として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた専門業者に委託する。使用済み容器、ウエス等も同様である。
汚染容器・包装：　情報なし

14. 輸送上の注意

国連番号：　非該当
品名：　非該当
国連分類：　非該当
容器等級：　非該当
国際規制：
海上規制情報：　該当しない
Marine Pollutant：　Not applicable
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annez Ⅱ, and the IBC code:　Not applicable
航空規制情報：　該当しない
国内規制：
陸上規制：　該当しない
海上規制情報：　該当しない
海洋汚染物質：　非該当
MARPOL 73/78 付属書Ⅱ　及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質　非該当
航空規制情報：　該当しない
特別の安全対策：　可燃性を有しているので火気厳禁。容器に漏れのないことを確かめ、店頭・落下・損傷のないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号：　なし

15. 適用法令

消防法：　指定可燃物　可燃性固体類
毒物劇物取締法：　非該当
労働安全衛生法：
［表示対象物質］酸化チタン（Ⅳ）
［通知対象物質］酸化亜鉛、酸化チタン（Ⅳ）、ニッケル及びその化合物、アンチモン及びその化合物
［特化則］非該当
［有機則］非該当
ＰＲＴＲ法：

［第１種指定化学物質］	ニッケル化合物
［第２種指定化学物質］	非該当
水質汚濁防止法：	指定物質（法第２条第４項、施工令第３条の３）
大気汚染防止法：	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）
海洋汚染防止法：	有害液体物質（Ｚ類物質）（施工令別表第１）
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第１の１６の項
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）：	特定有害廃棄物（法第２条第１項第１号イ、平成３０年６月１８日省令第１２号）
水道法：	有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）
下水道法：	水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）
労働基準法：	疾病化学物質（法第７５条第２項、施行規則第３５条別表第１の２第４号１）
じん肺法：	法第２条、施行規則第２条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：	産業廃棄物（法第２条第４項）

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本シーリング材工業会）室内空気汚染対策のための自主管理規定
ＪＳＩＡ－８０１００３　Ｆ☆☆☆☆

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）「GHS分類結果データベース」
日本ケミカルデータベース株式会社　法規制データベース「ezCRIC」
日本ケミカルデータベース株式会社　「ケミカルデータベース」
製品安全データシート指針（日本化学工業協会）
化学物質等の危険有害性等表示制度（労働基準調査会）
化学物質安全性情報の提供について（食品薬品安全センター）
化学品法令集　化学工業日報社（1991）
16918の化学商品　化学工業日報社（2018）

安全ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ

1. 化学品および会社情報

品名：**ﾌｸﾋﾞﾎﾞﾝﾄﾞ浴室水廻り用**

会社：ﾌｸﾋﾞ化学工業株式会社

担当：ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ部

住所：福井県福井市三十八社町 33-66　〒918-8585

電話：0776-38-8031　　FAX：0776-38-8404

作成：2014 年 2 月 13 日　　改定：2020 年 1 月 15 日

2. 危険有害性の要約

＜GHS 分類＞

物理化学的危険性：いずれの項目も、区分外、分類対象外、または分類できない。

健康に対する有害性：

皮膚腐食性または刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性：区分 2A

呼吸器感作性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

その他の項目は、区分外、分類対象外、または分類できない。

環境に対する有害性：

水生環境有害性（急性）：区分 3

水生環境有害性（長期間）：区分 3

ｵｿﾞﾝ層への有害性：分類できない。

＜GHS ﾗﾍﾞﾙ要素＞

絵表示：健康有害性 / 感嘆符

注意喚起語：危険

危険有害性情報：

［H315］皮膚刺激。

［H319］強い眼刺激。

［H334］吸入するとｱﾚﾙｷﾞｰ、ぜん息、または呼吸困難を起こすおそれ。

［H317］ｱﾚﾙｷﾞｰ性皮膚反応を起こすおそれ。

［H402］水生生物に有害。

［H412］長期継続的影響により水生生物に有害

＜注意書き＞

安全対策：

［P261］粉じん、ﾐｽﾄ、蒸気、ｽﾌﾟﾚｰの吸入を避ける。

［P264］取り扱い後は手をよく洗う。

［P272］汚染された作業衣は作業場から出さない。

［P273］環境への放出を避ける。

［P280］保護手袋、衣類、保護眼鏡を着用する。

応急措置：

[P302+P352] 皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗う。

[P305+P351+P338] 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次に、ｺﾝﾀｸﾄﾚﾝｽﾞを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

[P321] 特別処置が必要であり、『4.応急処置』の項を参照する。

[P333+P313] 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。

[P337+P313] 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受ける。

[P342+P311] 呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡する。

[P362+P364] 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

廃棄：

[P501] 内容物や容器を廃棄する場合は、法令、条例に従って廃棄する。

3. 組成および成分情報

化学品または混合物の区別：混合物

化学名：一成分形変成ｼﾘｺｰﾝ･ｴﾎﾟｷｼ樹脂系接着剤

成分および含有量：

変成ｼﾘｺｰﾝ･ｴﾎﾟｷｼ樹脂等　30 - 40 %

（内）液状ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂（CAS 25068-38-6）　1 - 5 %

無機充てん剤　50 - 70 %

（内）ｼﾘｶ（CAS 112926-00-8）　0.1-1 %

ｼﾞｱﾙｷﾙｽｽﾞ化合物　0.1 - 0.5 %

4. 応急処置

眼に入った場合：

直ちに清浄水で15分以上洗浄する。医師の診察、手当を受ける。

皮膚に付着した場合：

付着物を布で拭き取る。水と石けんで付着した部分を洗う。

外観の変化や痛みがある場合には医師の診察、手当を受ける。

吸入した場合：

新鮮な空気の場所に移し、安静、保温に努める。医師の診察、手当を受ける。

飲み込んだ場合：

直ちに医師の診察、手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂。

使ってはならない消火剤：特になし。

特有の危険有害性：特になし。

特有の消火方法：

適切な保護具を着用する。

保護衣の着用のほか、状況により不浸透性手袋、有機ｶﾞｽ用防毒ﾏｽｸ等の保護具を着用する。

可燃性のものを速やかに周囲から取り除く。

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。

消火剤により風上より消火する。

消火を行う者の保護：消火者は必ず適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：

保護眼鏡、保護手袋、防毒ﾏｽｸ等を着用して作業する。

環境に対する注意事項：

漏出した場所の周辺にはﾛｰﾌﾟ等を張り、人の立ち入りを禁止する。

付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。

多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。

回収、中和：

少量の場合は紙，布，砂などに吸収させ、ﾌﾀ付きの器等に回収する。

多量の場合は火花の出ないｼｬﾍﾞﾙ等で空容器等にすくい取る。

滑りやすくなるため、注意して適切な方法で除去する。

自然発熱が起こる場合がある。除去作業に使用したｳｴｽ、砂などは適切な方法で廃棄する。

流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

皮膚に触れないように保護手袋、眼に入らないように保護眼鏡などの保護具を着用する。

取り扱いの後は手をよく洗う。

火気厳禁で取り扱う。

保管：

容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。

直射日光を避け、容器を密閉し、冷暗所に保管する。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度、許容濃度：設定されていない。

設備対策：蒸気やﾐｽﾄが発生する場合には、換気装置を設ける。

保護具：

呼吸用保護具：防塵ﾏｽｸ、有機ｶﾞｽ用防毒ﾏｽｸ。

目の保護具：保護ﾒｶﾞﾈ、ｺﾞｰｸﾞﾙ。

皮膚の保護具：長袖作業衣。

手の保護具：ｺﾞﾑ手袋ほか、不浸透性の手袋。

9. 物理的および化学的性質

外観：白色ﾊﾟﾃ状。

臭い：わずかにあり。

比重：1.5

溶解性：水に不溶。

10. 安定性および反応性

安定性：通常の取り扱い条件では安定。

反応性：通常の取り扱い条件では危険な反応はなし。

避けるべき条件：高温、火気、ｽﾊﾟｰｸ。

混触危険物質：酸、ｱﾙｶﾘ、酸化剤。

危険有害な分解生成物：特になし。

11. 有害性情報

急性毒性：10,000～11,400 mg/kg（LD50/ﾗｯﾄ） ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂

皮膚刺激/腐食性：区分2　皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷･刺激性：区分2A　強い眼刺激

呼吸器感作性：区分1　吸入するとｱﾚﾙｷﾞｰ、ぜん息、または呼吸困難を起こすおそれ。

皮膚感作性：区分1　ｱﾚﾙｷﾞｰ性皮膚反応を起こすおそれ。

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）：区分3　水生生物に有害。

水生環境有害性（長期間）：区分3　長期的影響により水生生物に有害。

移動性：製品として知見なし。

13. 廃棄上の注意

廃掃法、および地域の条例等に従い処理する。

内容物や容器は許可を受けた業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類および国連番号：非該当。

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項に記載による。その他、消防法、船舶安全法等の法令に定めるところに従う。

容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、破損がないように積み、荷崩れの防止を行う。

15. 適用法令

消防法：指定可燃物　可燃性固体類

毒物劇物取締法：該当しない。

労働安全衛生法：令別表第九（ｼﾘｶ、ｽｽﾞ及びその化合物）

化学物質管理促進法：該当しない。

16. その他の情報

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ基準（日本接着剤工業会）：JAIA 011187　F☆☆☆☆

4VOC放散速度基準（日本接着剤工業会）：JAIA 505024　4VOC基準適合

参考資料：

・　独立行政法人　製品評価技術基盤機構　化学物質総合情報提供ｼｽﾃﾑ

・　化学工業日報社　15307の化学商品

本書の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、ﾃﾞｰﾀに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで、使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

［供給者］ 会　　社　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見２４番地
担当部門　　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　　FAX番号　　052-443-4825
緊急連絡先　　担当部門に同じ

整理番号：　ＤＪＫ－００５７－４
改訂日　　２０２１年 １１月 ２９日
作成日　　２０１５年　 １月 １４日

化学品の名称（化学名，商品名）　ジョリシール　ＪＫ－５７（Ｔ－７）

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

皮膚感作性		区分１
水生環境有害性	短期（急性）	区分３
水生環境有害性	長期（慢性）	区分３

※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示

・注意喚起語　　警告

・危険有害性情報
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412 長期継続的影響によって水性生物に有害

・注意事項（ＧＨＳ対応表記）

安全対策
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。（P261）
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（P272）
環境への放出を避けること。（P273）
保護手袋を着用すること。（P280）

救急措置
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。（P302+P352）
特別な処置が必要である。（P321）
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てをうけること。（P333+P313）
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。（P362+P364）

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。（P501）

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物
化学名又は一般名：　シリコーン系シーリング材
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	ＣＡＳ№	化審法
ポリアルキルシロキサン等	社外秘	－	既存
オキシムシラン	1～10	－	既存
ビニルトリス（メチルエチルケトキシミン）シラン	1未満	2224-33-1	既存
酸化亜鉛	1未満	1314-13-2	既存
酸化チタン（Ⅳ）	1～10	13463-67-7	既存
Ｎ－（２－アミノエチル）－３－アミノピロピルトリメトキシシラン	1未満	1760-24-3	既存

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）	酸化亜鉛（1%未満）、酸化チタン（Ⅳ）（1%～10%）

4. 応急措置

目に入った場合：	直ちに多量の水で１５分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
皮膚に付着した場合：	付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）
吸入した場合：	吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気の場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末・炭酸ガス・泡
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の消火方法：	付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火に際しては、保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具および緊急措置：	密閉された場所に立入る前に換気する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。 作業の際は必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。 廃棄は『廃棄上の注意』の項による。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合は、紙や布で拭き取る。 大量の場合は、火花のでないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	火気厳禁。溶剤による希釈や品質の異なる接着剤との併用及び混合はしない。 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕１～２時間）を行なう。 使用時は目・皮膚等への接触を避けるために適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。 作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、すみやかに石鹸水等で洗い落とす。 使用箇所及び張付け材料は、容器の表示を確認し使用する。
技術的対策：	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	環境への放出を避けること。
接触回避：	『10. 安全性及び反応性』を参照。
保　管：	貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行い『消防法』に従い貯蔵する。 直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子どもの手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。

安全な保管条件：　消防法・労働安全衛生法等の、法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。
現場施工用接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。
使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流出させない。
使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：　局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。
保護具：
呼吸用保護具：保護マスクを着用する。
手の保護具：　保護手袋を着用すること。
目の保護具：　保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具：　長袖作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
形状：	ペースト状
色：	白色
臭い：	微臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	８１℃（その他）
自然発火点：	４５０℃
分解温度：	データなし
ｐＨ：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	データなし
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	１．０４（g/cm^3）（２３℃）
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他のデータ：　揮発性：	なし

10. 安定性及び反応性

反応性：　情報なし
化学的安定性：　情報なし
危険有害反応可能性：　強酸・強アルカリとの接触により、重合あるいは分解が起こる。
避けるべき条件：　現在のところ知見なし。
混触危険物質：　情報なし
危険有害な分解生成物：　現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

［ＧＨＳ分類］
急性毒性：
経口：現在のところ知見なし。
経皮：現在のところ知見なし。
吸入：現在のところ知見なし。
皮膚腐食性／刺激性：　現在のところ知見なし。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：　現在のところ知見なし。
呼吸器感作性：　現在のところ知見なし。
皮膚感作性：　現在のところ知見なし。
生殖細胞変異原性：　現在のところ知見なし。
発がん性：　現在のところ知見なし。
生殖毒性：　現在のところ知見なし。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：　データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）：　データなし

誤えん有害性： データなし
その他のデータ： 慢性毒性： 現在のところ知見なし。
催奇形性： 現在のところ知見なし。
その他 水や空気中の湿気との接触時及び硬化時にメチルエチルケトオキシムを発生する。

12. 環境影響情報

［ＧＨＳ分類］ 水生環境有害性 短期（急性）： 現在のところ知見なし。
水生環境有害性 長期（慢性）： 現在のところ知見なし。
生態毒性： データなし。
残留性・分解性： データなし。
生体蓄積性： データなし。
土壌中の移動性： データなし。
オゾン層への有害性： データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 産業廃棄物〔廃油と廃プレスチック類の混合物〕として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた専門業者に委託する。使用済み容器、ウエス等も同様である。
汚染容器・包装： 情報なし

14. 輸送上の注意

国連番号： 非該当
品名： 非該当
国連分類： 非該当
容器等級： 非該当
国際規制：
海上規制情報： 該当しない
Marine Pollutant： Not applicable
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annez Ⅱ, and the IBC code: Not applicable
航空規制情報： 該当しない
国内規制：
陸上規制： 該当しない
海上規制情報： 該当しない
海洋汚染物質： 非該当
MARPOL 73/78 付属書Ⅱ 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 非該当
航空規制情報： 該当しない
特別の安全対策： 可燃性を有しているので火気厳禁。容器に漏れのないことを確かめ、店頭・落下・損傷のないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号： なし

15. 適用法令

消防法： 指定可燃物 可燃性固体類
毒物劇物取締法： 非該当
労働安全衛生法：
［表示対象物質］ 酸化チタン（Ⅳ）
［通知対象物質］ 酸化亜鉛、酸化チタン（Ⅳ）
［特化則］ 非該当
［有機則］ 非該当
ＰＲＴＲ法：
［第１種指定化学物質］ 非該当
［第２種指定化学物質］ 非該当
水質汚濁防止法： 指定物質（法第２条第４項、施工令第３条の３）
大気汚染防止法： 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）

海洋汚染防止法：	有害液体物質（Ｚ類物質）（施工令別表第１）
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第１の１６の項
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）：	特定有害廃棄物（法第２条第１項第１号イ、平成３０年６月１８日省令第１２号）
水道法：	有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）
下水道法：	水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）
じん肺法：	法第２条、施行規則第２条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：	産業廃棄物（法第２条第４項）

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本シーリング材工業会）室内空気汚染対策のための自主管理規定
ＪＳＩＡ－８０１００３　Ｆ☆☆☆☆

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）「GHS分類結果データベース」
日本ケミカルデータベース株式会社　法規制データベース「ezCRIC」
日本ケミカルデータベース株式会社　「ケミカルデータベース」
製品安全データシート指針（日本化学工業協会）
化学物質等の危険有害性等表示制度（労働基準調査会）
化学物質安全性情報の提供について（食品薬品安全センター）
化学品法令集　化学工業日報社（1991）
16918の化学商品　化学工業日報社（2018）

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

［供給者］ 会　　社　　アイカ工業株式会社
住　　所　　愛知県あま市上萱津深見２４番地
担当部門　　化成品カンパニー　品質管理グループ
電話番号　　052-443-4811　　FAX番号　　052-443-4825
緊急連絡先　　担当部門に同じ

整理番号：　ＤＪＫ－００５２－３
改訂日　　２０２１年 １１月 ２９日
作成日　　２０１５年　 １月 １４日

化学品の名称（化学名，商品名）　ジョリシール　ＪＫ－５７（ＯＬＯ）

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

皮膚感作性		区分１
水生環境有害性	短期（急性）	区分３
水生環境有害性	長期（慢性）	区分３

※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示

・注意喚起語　　警告

・危険有害性情報
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412 長期継続的影響によって水性生物に有害

・注意事項（ＧＨＳ対応表記）

安全対策
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。（P261）
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（P272）
環境への放出を避けること。（P273）
保護手袋を着用すること。（P280）

救急措置
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。（P302+P352）
特別な処置が必要である。（P321）
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てをうけること。（P333+P313）
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。（P362+P364）

廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。（P501）

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物
化学名又は一般名：　シリコーン系シーリング材
成分及び含有量：

成分名	含有率（%）	ＣＡＳ№	化審法
ポリアルキルシロキサン等	社外秘	－	既存
オキシムシラン	1～10	－	既存
ビニルトリス（メチルエチルケトキシミン）シラン	1未満	2224-33-1	既存
酸化亜鉛	1未満	1314-13-2	既存
酸化チタン（Ⅳ）	1～10	13463-67-7	既存
Ｎ－（２－アミノエチル）－３－アミノピロピルトリメトキシシラン	1未満	1760-24-3	既存
ニッケル及びその化合物／アンチモン及びその化合物	1未満	8007-18-9	既存

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）	酸化亜鉛（1%未満）、酸化チタン（Ⅳ）（1%～10%）、ニッケル及びその化合物（1%未満）、アンチモン及びその化合物（1%未満）
化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）	第1種指定化学物質、特定第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1、施行令第4条）	ニッケル化合物（0.11%）

4. 応急措置

目に入った場合：	直ちに多量の水で１５分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
皮膚に付着した場合：	付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）
吸入した場合：	吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気の場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末・炭酸ガス・泡
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の消火方法：	付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火に際しては、保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具および緊急措置：	密閉された場所に立入る前に換気する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。 作業の際は必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。 廃棄は『廃棄上の注意』の項による。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	少量の場合は、紙や布で拭き取る。 大量の場合は、火花のでないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	火気厳禁。溶剤による希釈や品質の異なる接着剤との併用及び混合はしない。 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕１～２時間）を行なう。 使用時は目・皮膚等への接触を避けるために適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。 作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、すみやかに石鹸水等で洗い落とす。 使用箇所及び張付け材料は、容器の表示を確認し使用する。
技術的対策：	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	環境への放出を避けること。
接触回避：	『10. 安全性及び反応性』を参照。

保　管：　貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行い『消防法』に従い貯蔵する。直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子どもの手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。

安全な保管条件：　消防法・労働安全衛生法等の、法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。
現場施工用接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。
使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流出させない。
使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：　局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。

保護具：
- 呼吸用保護具：保護マスクを着用する。
- 手の保護具：　保護手袋を着用すること。
- 目の保護具：　保護メガネを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具：　長袖作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
形状：	ペースト状
色：	淡橙色
臭い：	微臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	８１℃（その他）
自然発火点：	４５０℃
分解温度：	データなし
ｐＨ：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	データなし
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	１．０４（g/cm^3）（２３℃）
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし
その他のデータ：　揮発性：	なし

10. 安定性及び反応性

反応性：　情報なし

化学的安定性：　情報なし

危険有害反応可能性：　強酸・強アルカリとの接触により、重合あるいは分解が起こる。

避けるべき条件：　現在のところ知見なし。

混触危険物質：　情報なし

危険有害な分解生成物：　現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

［ＧＨＳ分類］

急性毒性：
- 経口：現在のところ知見なし。
- 経皮：現在のところ知見なし。
- 吸入：現在のところ知見なし。

皮膚腐食性／刺激性：　現在のところ知見なし。

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：　現在のところ知見なし。

呼吸器感作性：　現在のところ知見なし。

皮膚感作性：　現在のところ知見なし。

生殖細胞変異原性：　現在のところ知見なし。

発がん性：　現在のところ知見なし。

生殖毒性：　現在のところ知見なし。

特定標的臓器毒性（単回暴露）：　データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）：　データなし
誤えん有害性：　データなし
その他のデータ：　慢性毒性：　現在のところ知見なし。
催奇形性：　現在のところ知見なし。
その他　水や空気中の湿気との接触時及び硬化時にメチルエチルケトオキシムを発生する。

12. 環境影響情報

［ＧＨＳ分類］水生環境有害性　短期（急性）：　現在のところ知見なし。
水生環境有害性　長期（慢性）：　現在のところ知見なし。
生態毒性：　データなし。
残留性・分解性：　データなし。
生体蓄積性：　データなし。
土壌中の移動性：　データなし。
オゾン層への有害性：　データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：　産業廃棄物〔廃油と廃プレスチック類の混合物〕として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた専門業者に委託する。使用済み容器、ウエス等も同様である。
汚染容器・包装：　情報なし

14. 輸送上の注意

国連番号：　非該当
品名：　非該当
国連分類：　非該当
容器等級：　非該当
国際規制：
海上規制情報：　該当しない
Marine Pollutant：　Not applicable
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annez Ⅱ, and the IBC code:　Not applicable
航空規制情報：　該当しない
国内規制：
陸上規制：　該当しない
海上規制情報：　該当しない
海洋汚染物質：　非該当
MARPOL 73/78 付属書Ⅱ　及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質　非該当
航空規制情報：　該当しない
特別の安全対策：　可燃性を有しているので火気厳禁。容器に漏れのないことを確かめ、店頭・落下・損傷のないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号：　なし

15. 適用法令

消防法：　指定可燃物　可燃性固体類
毒物劇物取締法：　非該当
労働安全衛生法：
［表示対象物質］酸化チタン（Ⅳ）
［通知対象物質］酸化亜鉛、酸化チタン（Ⅳ）、ニッケル及びその化合物、アンチモン及びその化合物
［特化則］非該当
［有機則］非該当
ＰＲＴＲ法：

［第１種指定化学物質］	ニッケル化合物
［第２種指定化学物質］	非該当
水質汚濁防止法：	指定物質（法第２条第４項、施工令第３条の３）
大気汚染防止法：	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第９次答申）
海洋汚染防止法：	有害液体物質（Ｚ類物質）（施工令別表第１）
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第１の１６の項
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）：	特定有害廃棄物（法第２条第１項第１号イ、平成３０年６月１８日省令第１２号）
水道法：	有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）
下水道法：	水質基準物質（法第１２条の２第２項、施行令第９条の４）
じん肺法：	法第２条、施行規則第２条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：	産業廃棄物（法第２条第４項）

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本シーリング材工業会）室内空気汚染対策のための自主管理規定
ＪＳＩＡ－８０１００３　Ｆ☆☆☆☆

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途･用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）「GHS分類結果データベース」
日本ケミカルデータベース株式会社　法規制データベース「ezCRIC」
日本ケミカルデータベース株式会社　「ケミカルデータベース」
製品安全データシート指針（日本化学工業協会）
化学物質等の危険有害性等表示制度（労働基準調査会）
化学物質安全性情報の提供について（食品薬品安全センター）
化学品法令集　化学工業日報社（1991）
16918の化学商品　化学工業日報社（2018）